

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
2	電気工学科		電子技術	2	大野 孝樹
担当者(担当クラス)					
この科目を履修するための条件や準備					
半導体や電子回路・通信システムなど、生活の身近なところから興味を持つことからはじめてみよう					
この科目のねらい 目標					
工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、電子技術を活用した工業生産に必要な資質・能力を育成することを目指す					
具体的な指導方法					
半導体の原理並びに論理回路などのデジタル回路の動作と特性を扱うこと。また、通信に関する法規を目的とし、無線従事者の資格取得に向けて意識を持たせながら指導する					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
電子技術 実教 工394			なし		
評価方法					
定期考査(年間5回) 平常点(授業態度・宿題レポート・積極性・出席状況など)などで総合的に判断					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで					
半導体素子					
・ 原子と電子 P. 8					
・ 半導体 P. 10					
・ ダイオード P. 12 トランジスタ P. 17					
II. 1学期期末考査まで					
半導体素子					
・ 電界効果トランジスタ P. 21					
・ 集積回路 P. 24					
→4, 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
III. 2学期中間考査まで					
アナログ回路					
・ 増幅回路の基礎 P. 34					
・ 発振回路 P. 59					
・ 直流電源回路 P. 70					
IV. 2学期期末考査まで					
デジタル回路					
・ 論理回路 P. 80					
・ パルス回路 P. 91					
V. 学年末考査まで					
通信システムの基礎					
・ 有線通信システム P. 110					
・ 無線通信システム P. 128					
・ 通信関係法規 P. 183					